

The background of the slide features a complex network of light blue lines and dots, resembling a molecular structure or a data network, set against a dark blue gradient background.

第14期 決算説明会

2019年8月29日

scigineer

サイジニア株式会社

会社概要

scigineer

- 会社名 サイジニア株式会社
- 所在地 東京都港区浜松町1-22-5
- 代表取締役 吉井 伸一郎
- 事業内容 パーソナライズ・エンジン「デクワス」を利用した
マーケティング支援サービスを提供
- 沿革 2005年8月 サイジニア有限会社を北海道江別市に設立
 2007年4月 サイジニア株式会社へ組織変更
 2008年5月 「デクワス.RECO」サービス開始
 2010年10月 「デクワス.AD」サービス開始
 2012年9月 「デクワス.DSP」サービス開始
 2014年2月 「デクワス.POD」サービス開始
 2014年12月 東京証券取引所マザーズ市場へ上場
 2016年10月 「デクワス.CAMERA」サービス開始
 2017年9月 ビジュアルAIレコメンド「デクワス.VISION」サービス開始
 2018年8月 クルーズ株式会社と業務提携
 2018年8月 Yextのパートナーとしてデジタルナレッジマネジメント事業を開始
 2019年5月 「デクワス・マイビジネス」サービス開始

- ネット上の情報閲覧や商品購入などに関する

ユーザー行動履歴を大量保有し、

- ビッグデータから趣味嗜好性を解析する

AI等を駆使した独自解析技術を開発、

- 欲しいものをおすすめ、商品購入を促進する

マーケティングサービスを提供しています

「探すんじゃなくて、でくわす」を実現する デクワス を開発・提供



レコメンド事業



dequas.RECO

ネット広告事業



dequas.AD

パーソナライズ ターゲティング



再購入促進



dequas.POD

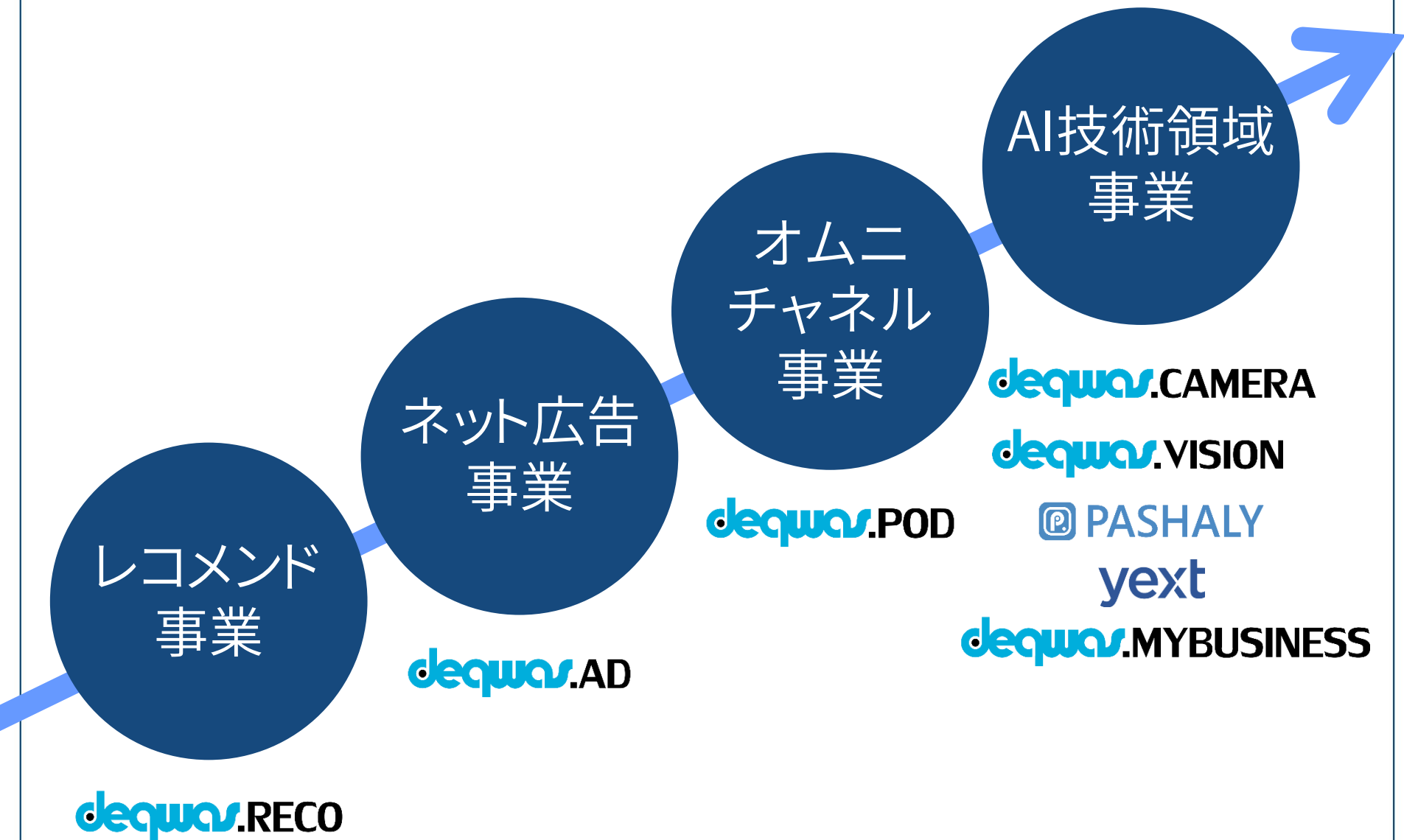
AIによる画像解析

PASHALY
dequas.CAMERA
dequas.VISION



オムニチャネル事業

AI・ビジュアルコマース事業





当期ハイライト

scigineer

① 既存ビジネスの伸長

② クルーズ株式会社との協業

③ デジタルナレッジマネジメント事業に着手

レコメンデーションビジネスの伸長

- 画像解析AIを用いた「デクワス.VISION」をきっかけとして「デクワス.RECO」とともにレコメンドサービスが伸長し、顧客数が増加
 - アパレルを中心としたECサイトにサービス提供



高付加価値の「デクワス.AD」ビジネスが伸長

- 大型顧客への集中サポートを実施したことにより、
売上が前年同期比で46%増
 - 当社の得意領域であるデータ分析・解析を軸に、
顧客のビジネス拡大に貢献
 - コンサル型営業が奏功
 - 顧客の営業力強化に有効な支援ツールを開発提供

SHOPLISTを運営するCROOZ SHOPLIST社との協業推進

- 各種デクワスをSHOPLISTへ順次導入、取引を拡大
- SHOPLIST顧客企業へもレコメンドサービスを提供
- 既存サービス以外にも協業範囲が拡大

当社

技術の
開発・運用

+

サービスの
企画・販売

CROOZ
SHOPLIST

デジタルナレッジマネジメントサービスの販売開始

- 多数の実店舗をもつ企業へサービス提供開始。
既存事業に比較して、営業先が大幅に拡大。
- 現在までに、メガバンクや大手セレクトショップを含む
下記の領域から顧客を獲得。

小売業

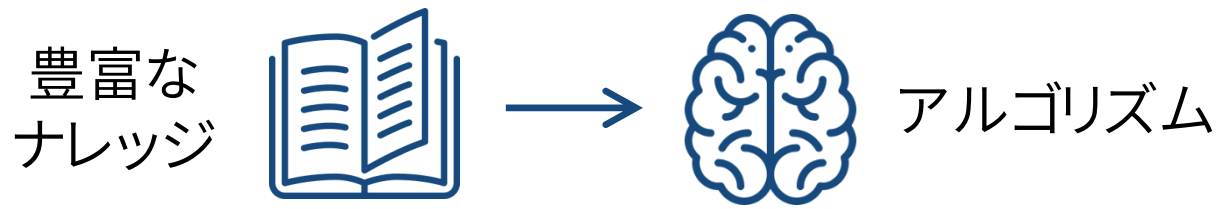
金融業

教育業界

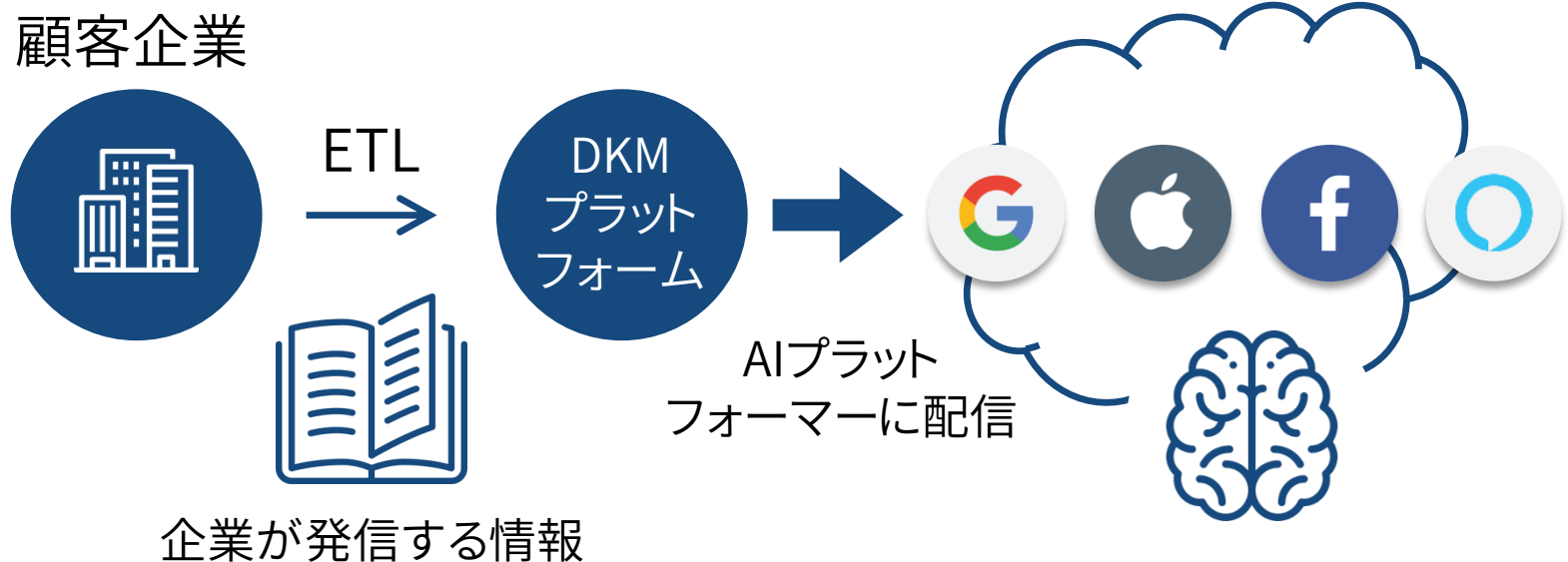
飲食業界

不動産業界

将来、AIが真価を発揮するためにはナレッジが必要

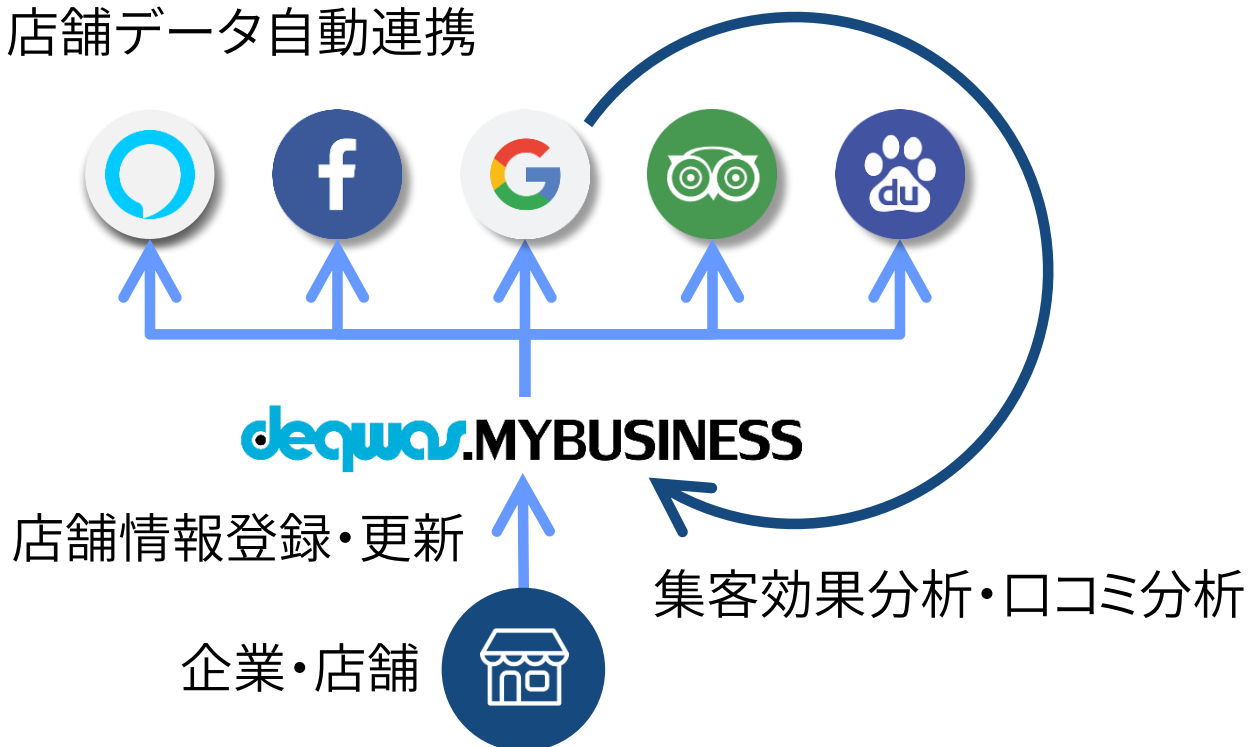


DKMプラットフォームによりGAFA等に企業情報を配信



SMB事業者向けに「デクワス・マイビジネス」の提供開始

店舗データ自動連携



- 店舗情報やビジネス情報を見つけやすくなる中小企業向けサービス
- Yextやサイジニアが連携するメディアと情報を同期し、最適化

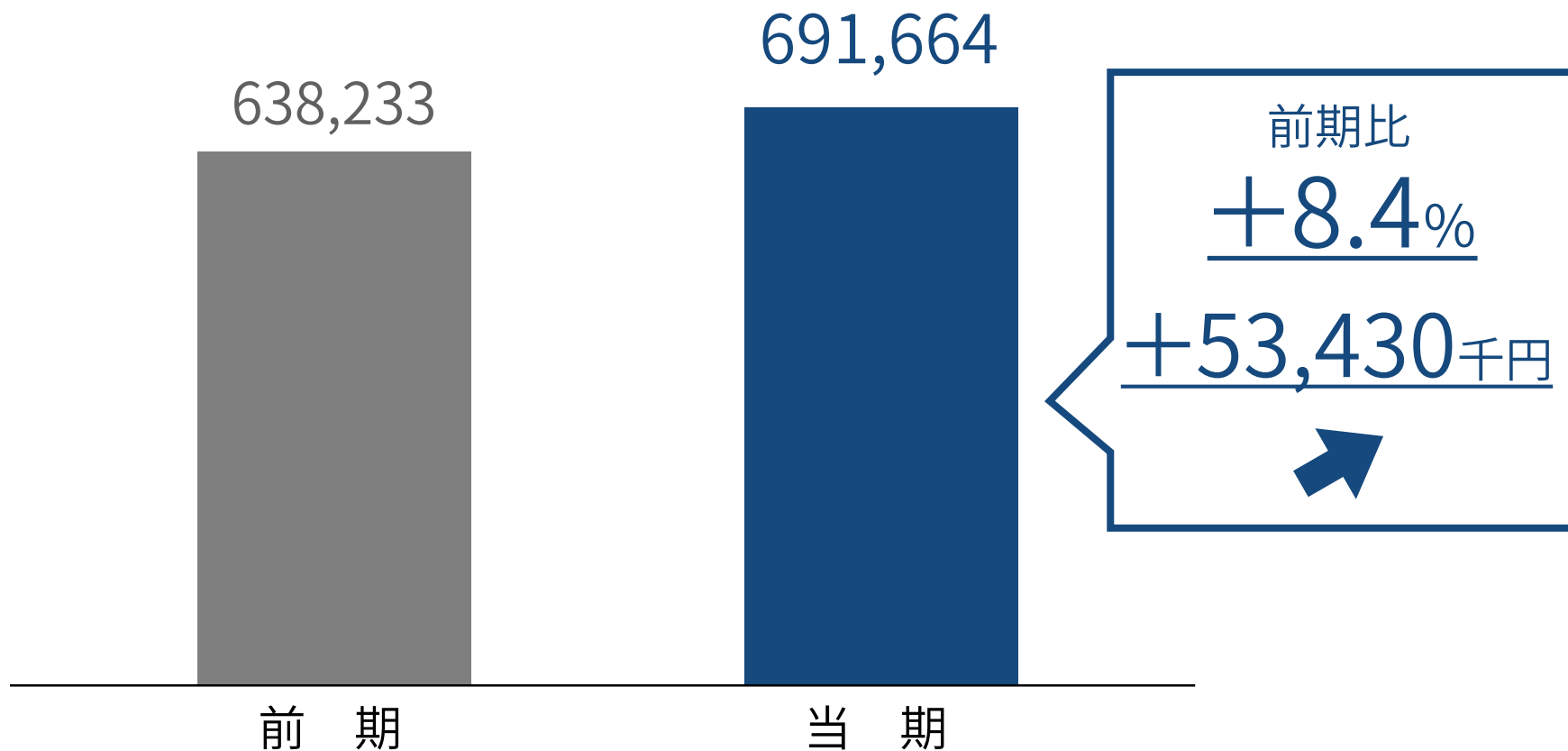
決算概要

scigineer

● 当事業年度 (2018年7月1日～2019年6月30日)

売上高

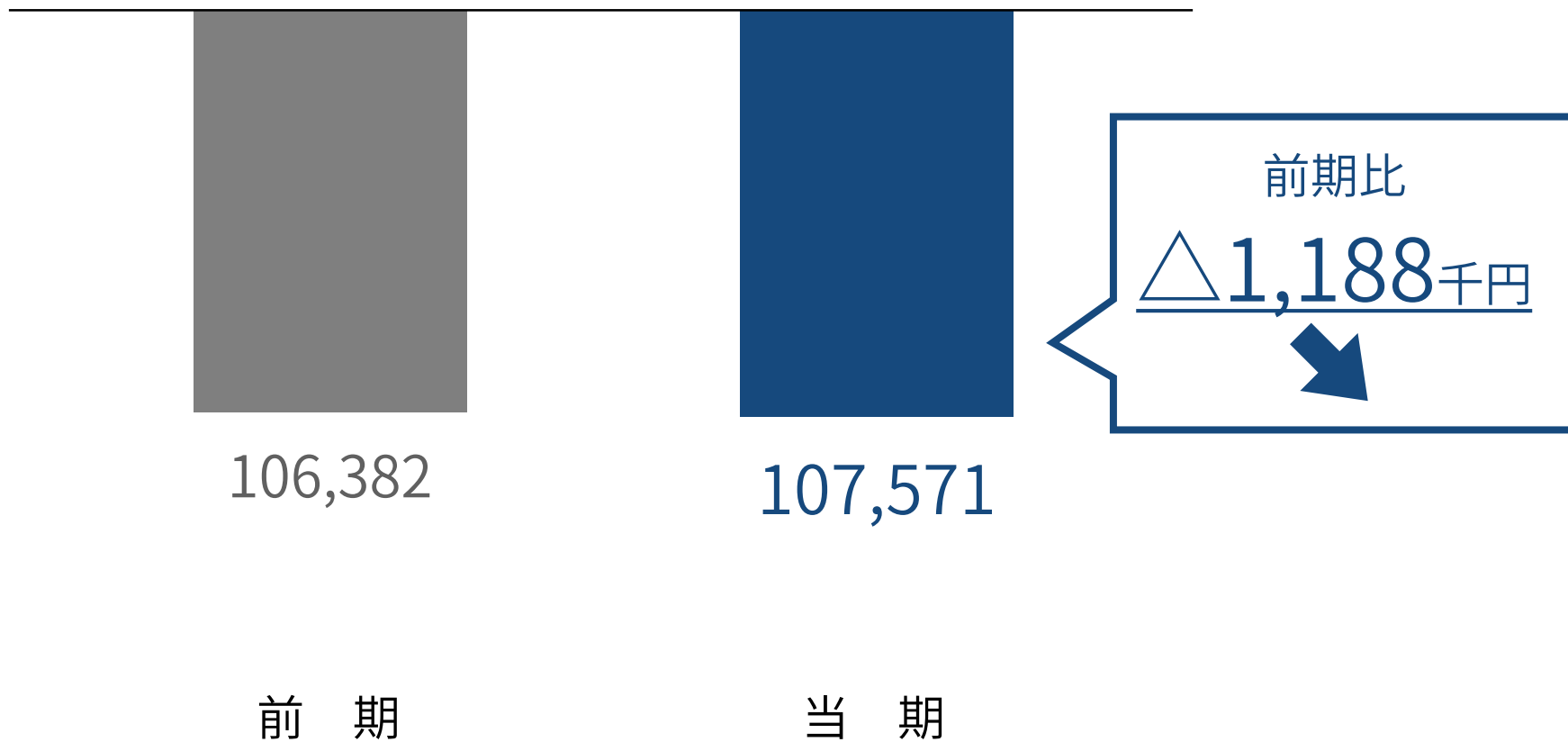
単位:千円



● 当事業年度 (2018年7月1日～2019年6月30日)

営業損失

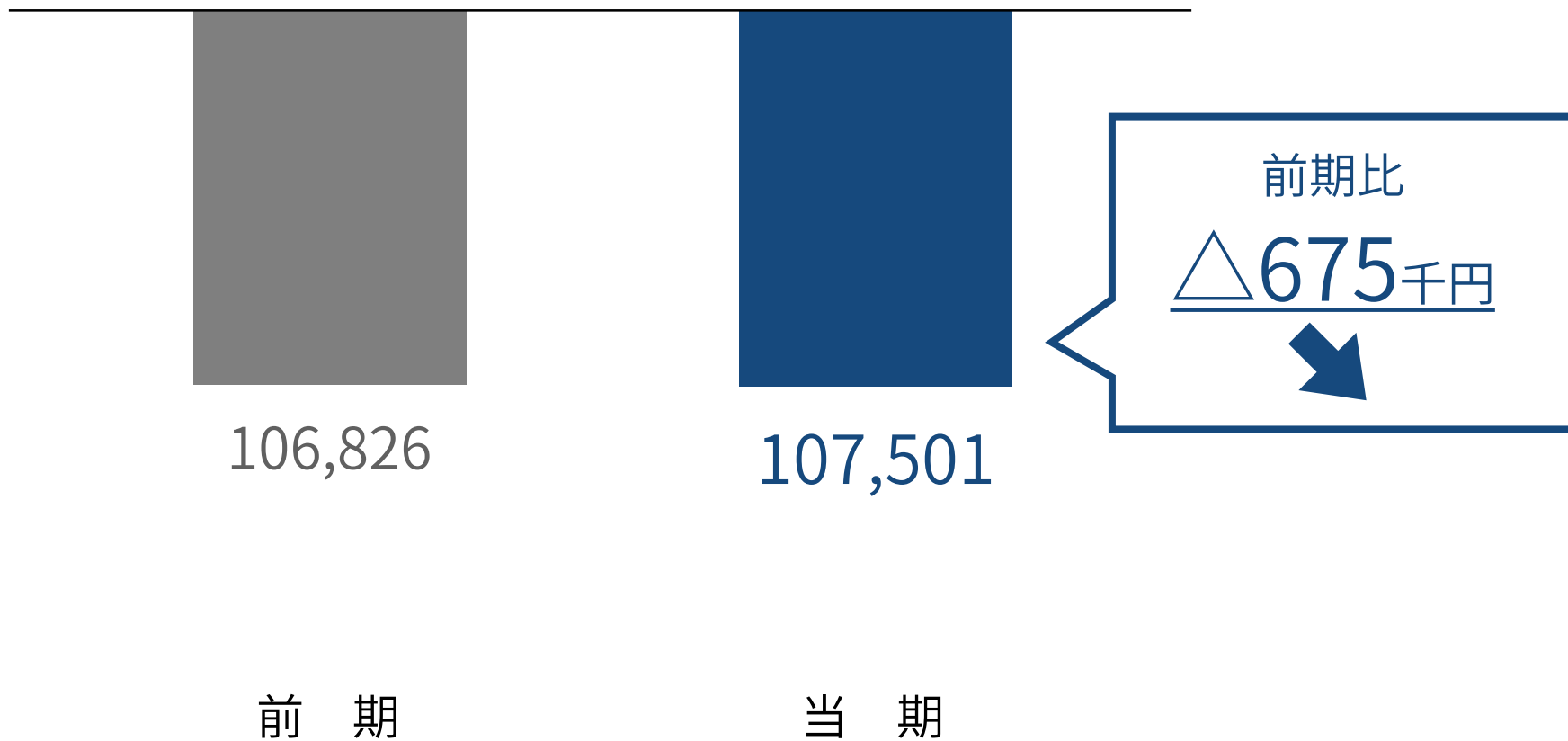
単位:千円



● 当事業年度 (2018年7月1日～2019年6月30日)

経常損失

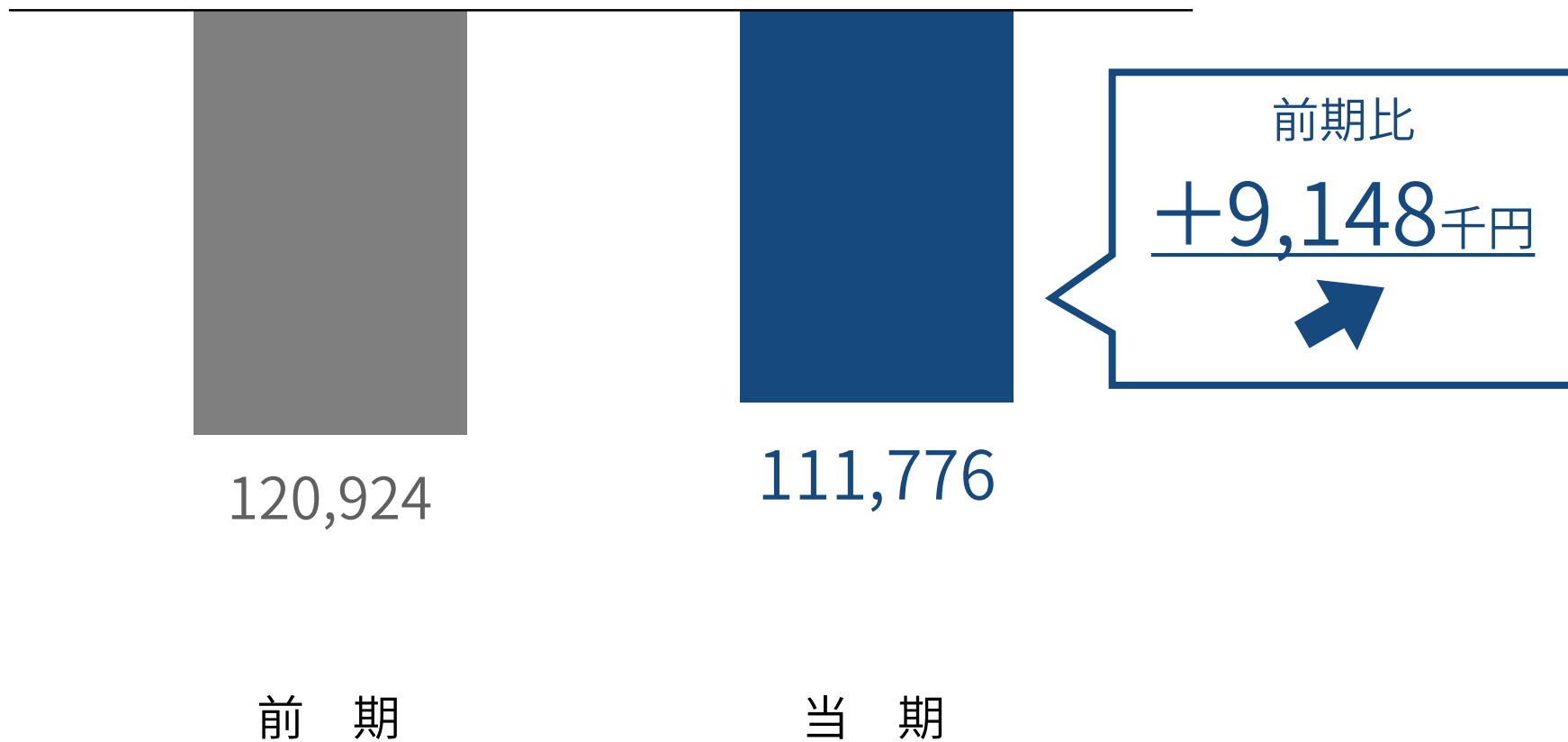
単位:千円



● 当事業年度 (2018年7月1日～2019年6月30日)

当期純損失

単位:千円



単位:千円

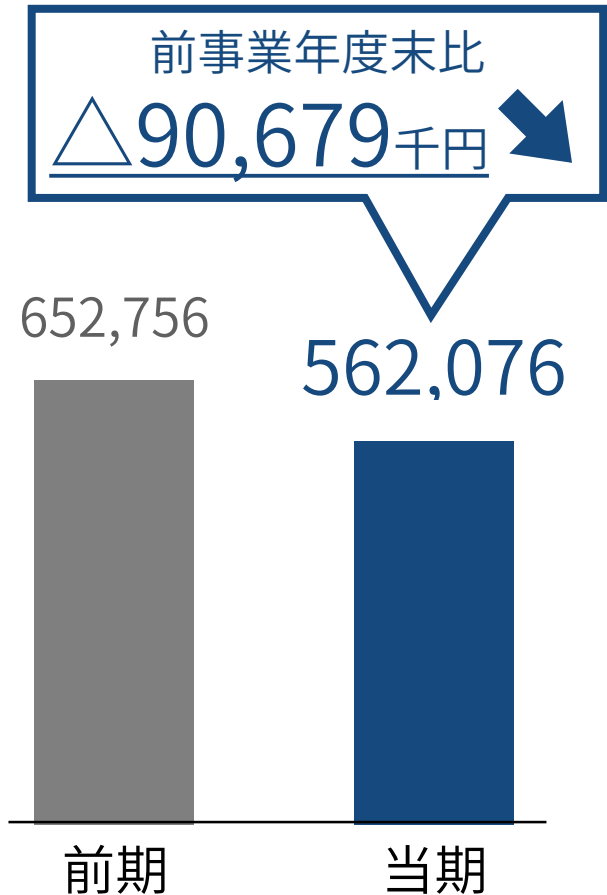
科 目	金 額
売上高	691,664
売上原価	571,376
売上総利益	120,288
販売費及び一般管理費	227,859
営業損失	107,571
営業外収益	69
経常損失	107,501
特別利益	5,762
特別損失	9,086
税引前当期純損失	110,826
当期純損失	111,776

scigineer 貸借対照表(資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	540,229
固定資産	21,847
有形固定資産	—
投資その他の資産	21,847
資産合計	562,076

資産合計

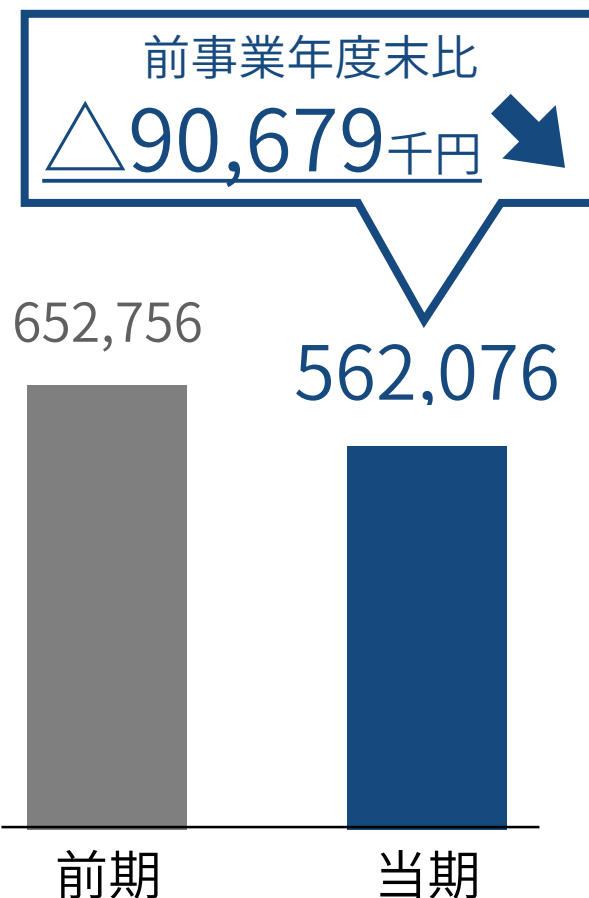


scigineer 貸借対照表(資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	540,229
固定資産	21,847
有形固定資産	—
投資その他の資産	21,847
● 現金及び預金の減少 ● 売掛金の減少 ● 前払費用の増加	
資産合計	562,076

資産合計



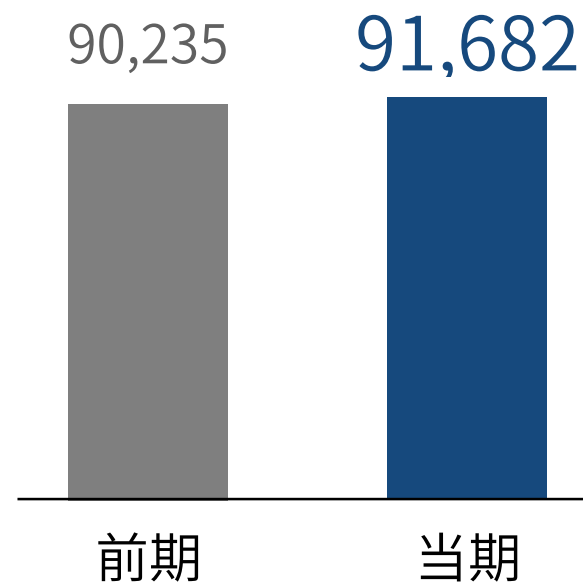
scigineer 貸借対照表(負債の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	85,467
固定負債	6,215
負債合計	91,682
純資産の部	
株主資本	460,218
資本金	800,961
資本剰余金	797,961
資本準備金	797,961
利益剰余金	△1,138,704
新株予約権	10,175
純資産合計	470,394
負債純資産合計	562,076

負債合計

前事業年度末比
+1,447千円 



scigineer 貸借対照表(負債の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	85,467
固定負債	6,215
負債合計	91,682

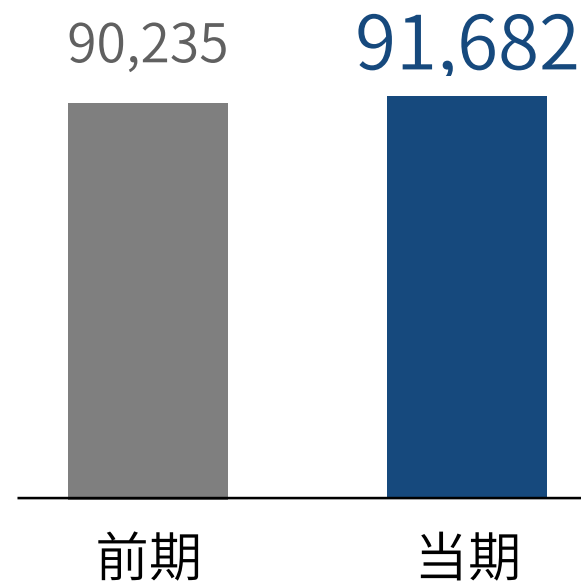
負債合計

前事業年度末比
+1,447千円 ↗

純資産の部

- 買掛金の減少
- 前受収益の増加

資本剰余金	797,961
資本準備金	797,961
利益剰余金	△1,138,704
新株予約権	10,175
純資産合計	470,394
負債純資産合計	562,076



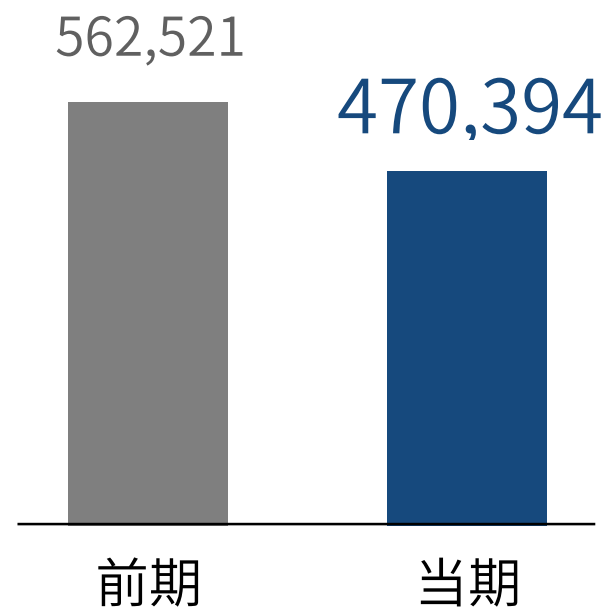
scigineer 貸借対照表(純資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	85,467
固定負債	6,215
負債合計	91,682
純資産の部	
株主資本	460,218
資本金	800,961
資本剰余金	797,961
資本準備金	797,961
利益剰余金	△1,138,704
新株予約権	10,175
純資産合計	470,394
負債純資産合計	562,076

純資産合計

前事業年度末比
 $\triangle 92,127$ 千円



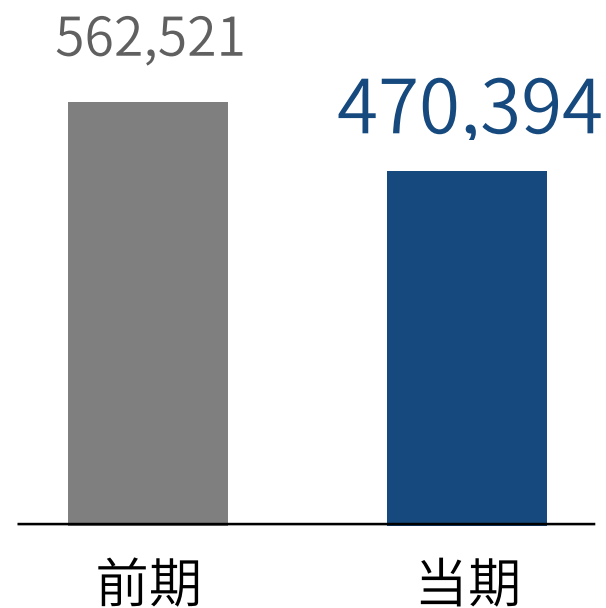
scigineer 貸借対照表(純資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	85,467
固定負債	6,215
負債合計	91,682
純資産の部	
株主資本	460,218
資本剰余金	800,061
● 資本金の増加	
● 資本剰余金の増加	
● 利益剰余金の減少	
● 新株予約権の減少	
新株予約権	10,175
純資産合計	470,394
負債純資産合計	562,076

純資産合計

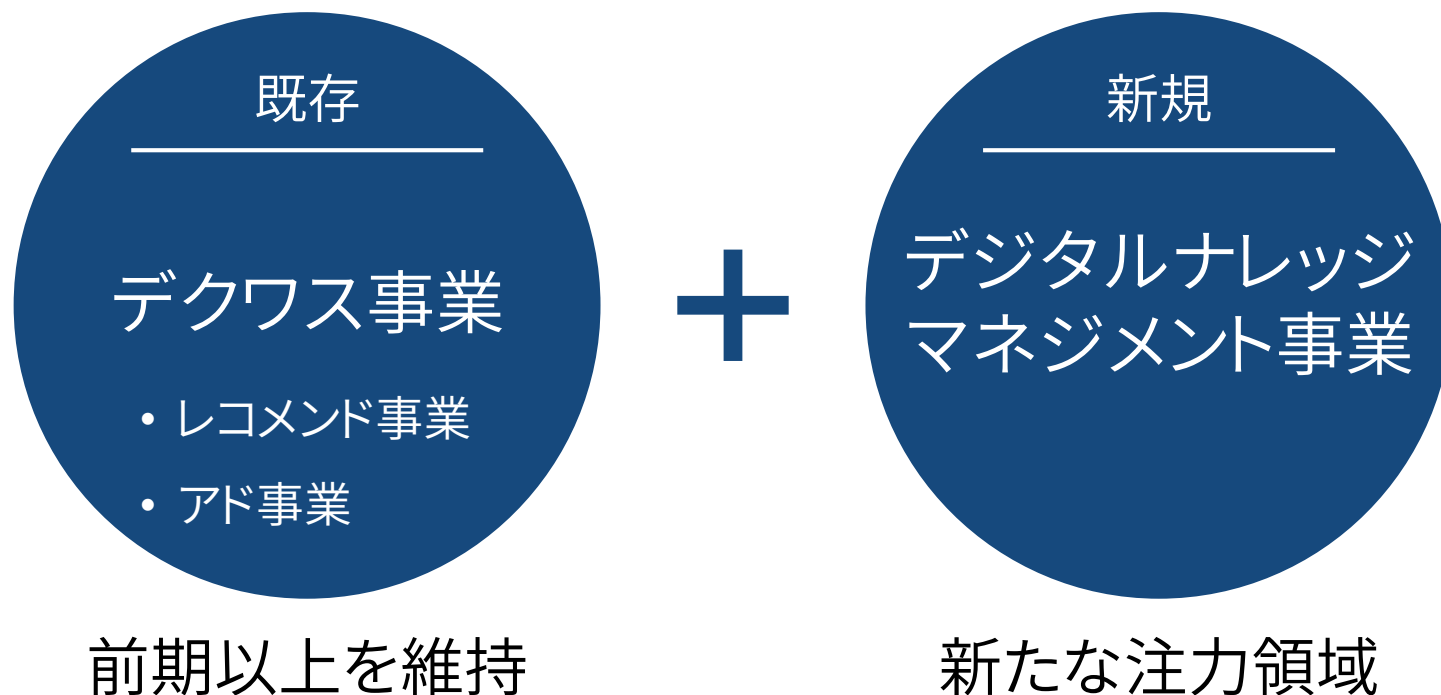
前事業年度末比
 $\triangle 92,127$ 千円



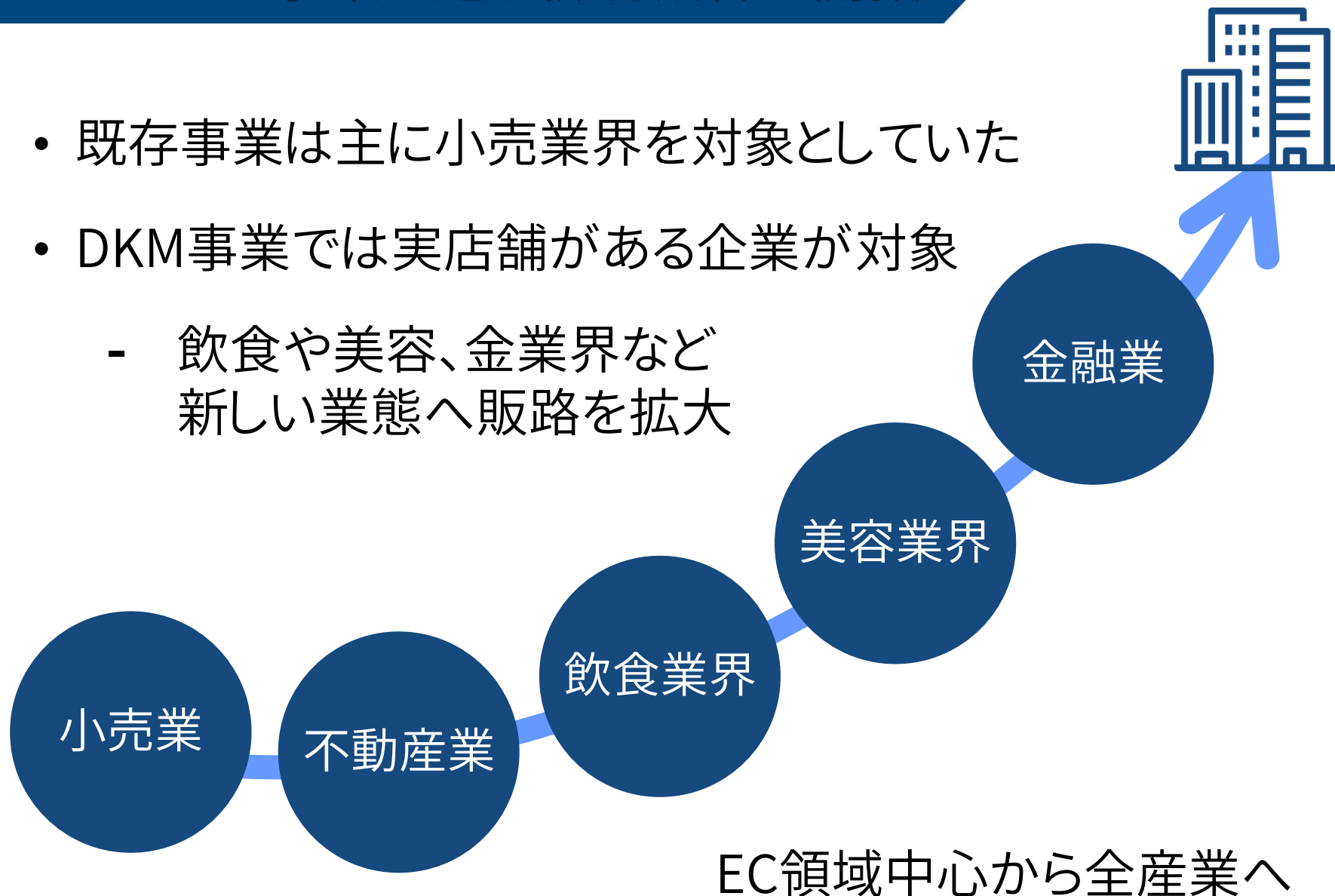
2020年6月期の取り組み

scigineer

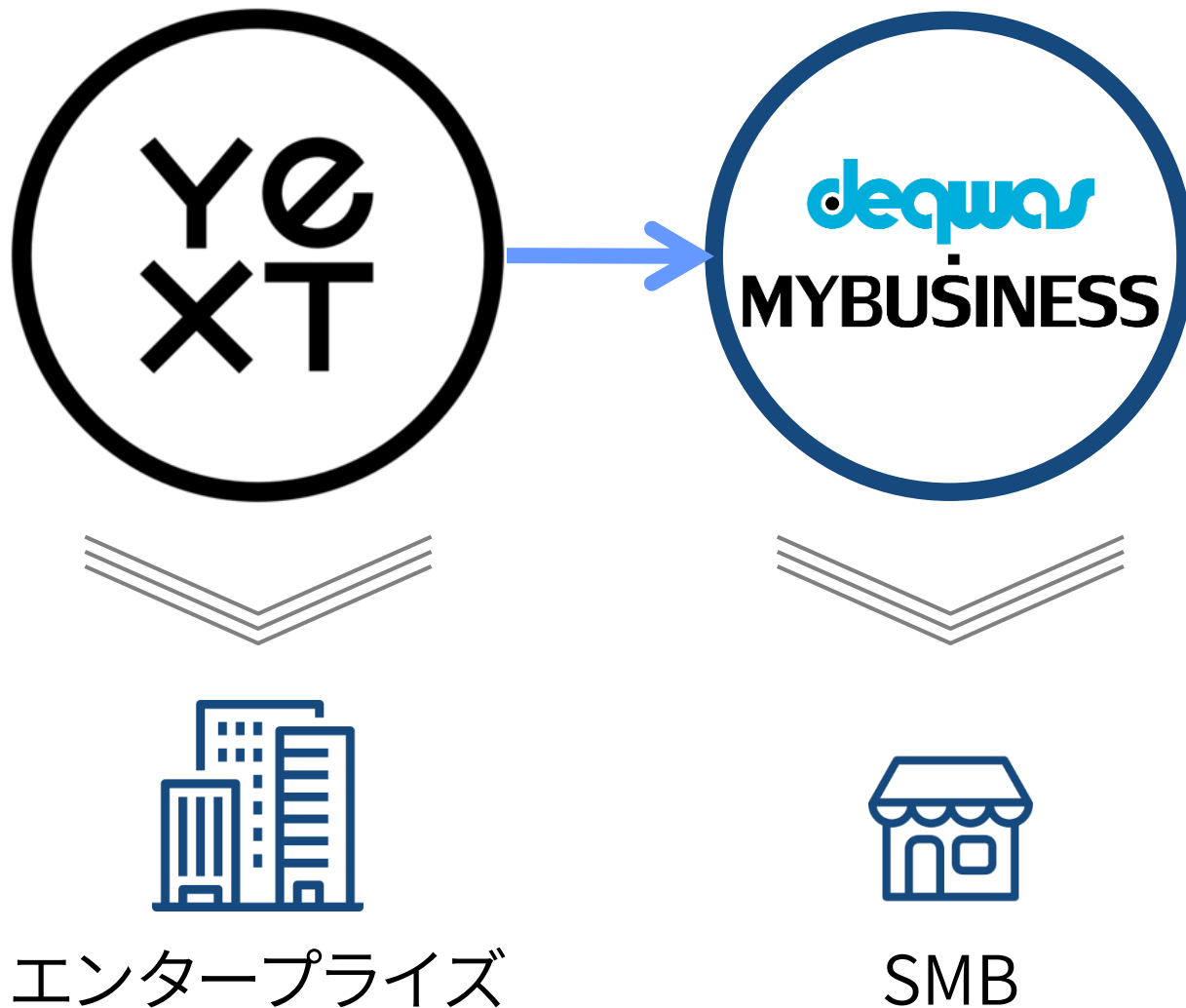
- 既存のデクワス事業では選択と集中で収益性を向上
- デジタルナレッジマネジメント事業の拡大に注力

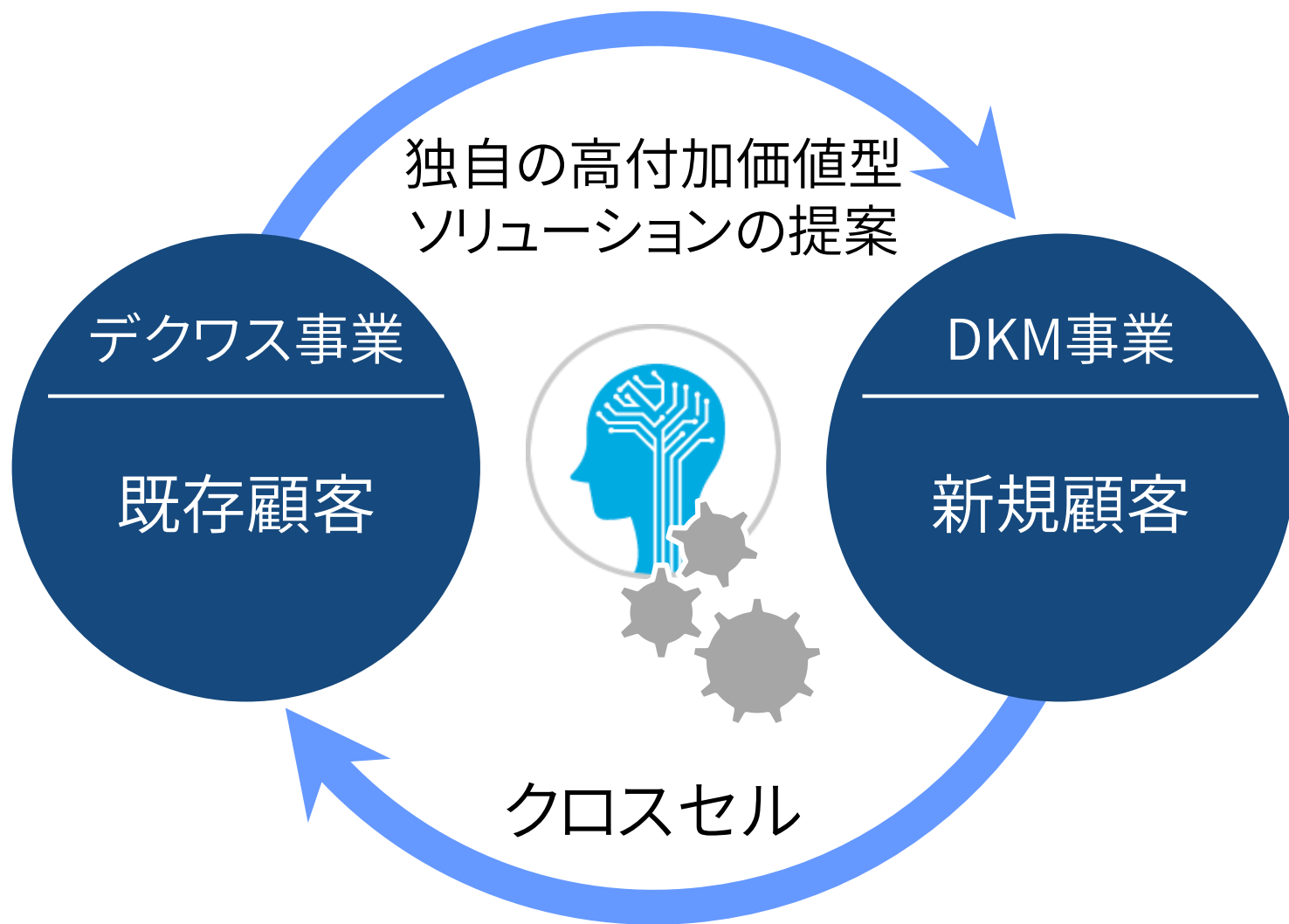


- 既存事業は主に小売業界を対象としていた
- DKM事業では実店舗がある企業が対象
 - 飲食や美容、金業界など
新しい業態へ販路を拡大



店舗形態に応じて最適なソリューションを提供





既存事業は前期以上を維持

DKM事業へリソースを投下し新しい事業の柱に

今期中に利益を出せる構造へと改革

2020年6月期 通期業績見込み

scigineer

DKMサービスの売上拡大に注力いたしますが、DKMサービスの収益確保は下期以降となる見込みです。

科 目	2019.06 通期実績	2020.06 通期見込み	前期比
売上高	691	820	+18.6%
営業損失	107	67	—
経常損失	107	67	—
当期純損失	111	88	—

質疑応答

scigineer

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

scigineer